

■LEDユニットについて

- LED光源寿命(光束維持時間)は、40,000時間です。
光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチを使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らぬよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。
(ご贈答品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご依頼にならない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。)

製品・お取り扱いなどのご相談は

お客様相談室

ナビダイヤル
(全国共通番号) 電話 0570-055123

受付時間：9:00～17:00
(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

修理・アフターサービスのお問い合わせは

サービスセンター

ナビダイヤル
(全国共通番号) 電話 0570-015123

FAX 0570-025123
受付時間：9:00～17:00
(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

●ご注意：所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

愛情点検



ご使用の際
このような
症状は
ありませんか？
●スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。
●プラグ、コード、本体を動かすと点滅する。
●プラグ、コード、本体などが異常に熱い。
●こじくさい臭いがする。
●コードに傷や傷跡が見られる。
●グローブ、セードなどにひびが見られる。



ご使用
中 止
故障や事故防止のため、電源
スイッチを切り、必ず販売店
に点検、修理を依頼してください。

△長年ご使用の照明器具の点検を！

●照明器具及び関連機器には寿命があります。設置して8～10年経つ、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。
点検・交換をおおすすめします。(周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯の場合)

●周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。

●3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

コイズミ照明器具 保証書

※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と一緒に保管してください。

＜アフターサービスについて＞

1. 保証説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。

2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、LED電源、LEDモジュール、LED電球は3年間です。

3. グロー点灯管、電池などの消耗品は、対象外といたします。

4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。

5. 保証期間もでの場合には原則として有料とさせていただきます。

(1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷

(2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷

(3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の

使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷

(4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷

(5)施工上の不備に起因する故障や不具合

(6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び

損傷

(7)保証書は日本国内においてのみ有効です。

7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※This warranty is valid only in Japan.

保証期間(お引き渡し日より)本体:1年間 LED電源/モジュール/LED電球:3年間

お買上年月日 取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号

お 客 様	お名前 ご住所 電話 ()
-------------	----------------------

KOIZUMI コイズミ照明器具 施工取扱説明書

型番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ	送り締め容量
AD53229・AD53236・AD53237	AC100/200/242V				
AD53244・AD53245・AD53246					
AD53247・AD53248・AD53249					
AD53263・AD53265・AD53266					
AD53267・AD53268・AD53269					
AD53274・AD53275・AD53280	0.11/0.06/0.06A	10.8/11.0/11.3W		LED	15A
AD53281・AD53282・AD53283					
AD53284・AD53285・AD53286					
AD53287・AD53288・AD53289					
AD53298・AD53299・AD53316					
AD53317・AD53318・AD53319					
AD53338・AD53339・AD53344					
AD53375・AD53376・AD53377					
AD53404・AD53405・AD53406					
AD53407・AD53408・AD53409	0.07/0.05/0.05A	6.8/7.1/7.3W			
AD53459・AD53460・AD53461					

お客様へ 器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ 施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

警 告		
この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。		
! 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行なってください。→器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	分解禁止
禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。→火災・感電・落下によるけがの原因になります。	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。→火災・感電・落下によるけがの原因になります。
禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。→感電・故障の原因になります。	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。→感電・故障の原因になります。
禁止	器具を布や紙などでおおって使用しないでください。→火災の原因になります。	器具を布や紙などでおおって使用しないでください。→火災の原因になります。
! 厳守	器具の直下は高温になっています。ドアや家具、ダンボールなどの可燃物を近づけて使用しないでください。→被照射物の焼損による火災の原因になります。	器具の直下は高温になっています。ドアや家具、ダンボールなどの可燃物を近づけて使用しないでください。→被照射物の焼損による火災の原因になります。
禁止	器具と被照射面の距離は器具表示および説明書に従って、ドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように取付けてください。→照射距離が制限より近すぎるとき被照射物の変質・変色または焼損による火災の原因になります。	器具と被照射面の距離は器具表示および説明書に従って、ドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように取付けてください。→照射距離が制限より近すぎるとき被照射物の変質・変色または焼損による火災の原因になります。
異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。→放置しますと火災・落によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。		

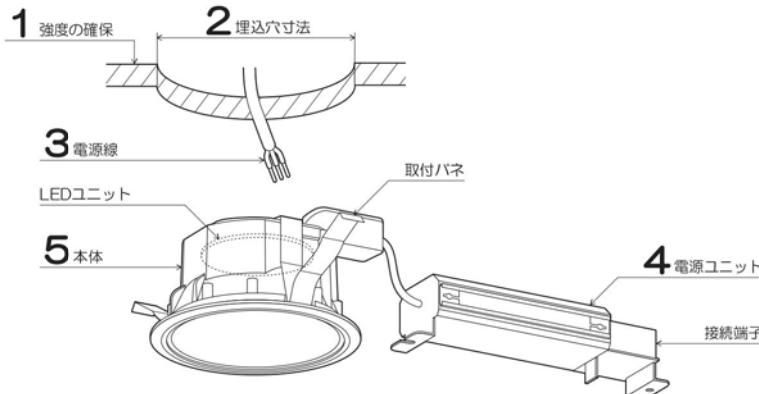
注 意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると
傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

	接觸禁止 点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らないでください。→やけどの原因になります。
	水ぬれ禁止 この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外では使用できません。→火災・感電の原因になります。
	禁止 ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。→火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。 周囲温度5~35°C、湿度45~85%の環境以外では使用しないでください。→火災・感電の原因になります。

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



1 施工前の確認

器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する。

2 天井に埋込穴をあける

型番	埋込穴寸法	天井材厚
AD53229・AD53236・AD53237・AD53244		
AD53245・AD53246・AD53247・AD53248	$\phi 150^{+2}_{-0}$	
AD53249・AD53263・AD53265・AD53266		
AD53267・AD53268・AD53269・AD53274		
AD53275・AD53280・AD53281・AD53282	$\phi 125^{+2}_{-0}$	
AD53283・AD53284・AD53285・AD53286		
AD53287・AD53288・AD53289・AD53298		
AD53299・AD53316・AD53317・AD53318		
AD53319・AD53338・AD53339・AD53344		
AD53375・AD53376・AD53377・AD53404		
AD53405・AD53406・AD53407・AD53408		
AD53409・AD53459・AD53460・AD53461	$\phi 100^{+2}_{-0}$	5~25mm

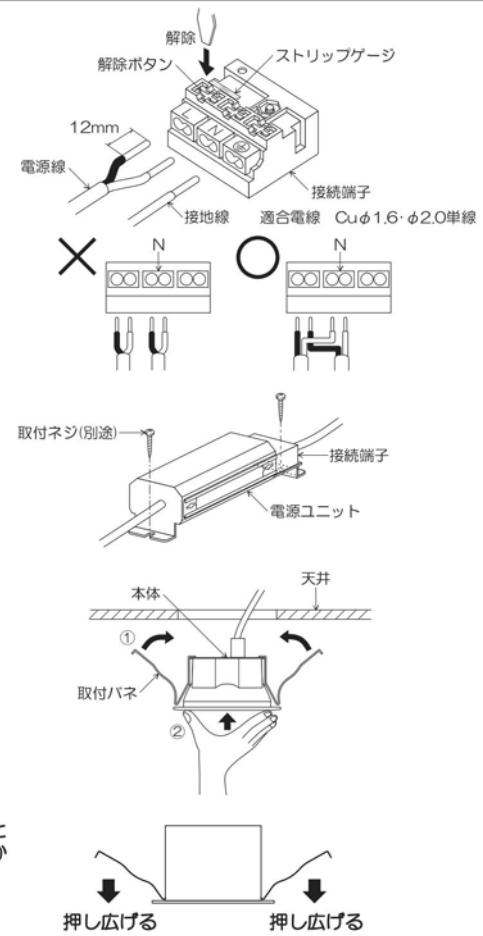
3 電源線を接続する

ストリッピングゲージに合わせて電源線の被覆をむき、接続端子に確実に差し込む。このとき、電源線は器具から離して施工する。また、送り配線は照明器具専用とする。

外す時は解除ボタンを押し、電源線を抜く。

※D種(第三種)接地工事を行なう。

△警告 電源の接続は確実に行なってください。
接続が不完全な場合や電源線が器具に接触した場合、容量オーバーした場合は火災・感電の原因になります。



4 電源ユニットを設置する

電源ユニットが横転・逆転しないように設置する。

△傾斜天井に取付ける場合

接続端子を傾斜方向下側にして取付ける。

※配光は傾斜天井対応ではありません。

※傾斜角度は55°までにしてください。

5 本体を取付ける

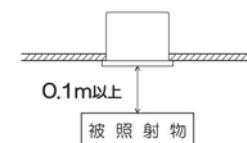
取付バネを矢印の方向に押さえ、本体を埋込穴へ入れ、押し上げる。

※天井材厚が薄い場合、天井との間にすきまが空くことがありますので、この場合は一度バネを押し広げてから埋込穴に挿入してください。

6 点灯の確認を行なう

■照射距離について

- 照射距離により被照射面が変色・変質するおそれがあります。
被照射面との距離は0.1m以上離してください。



!
器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。
- 電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は4個までとしてください。壁スイッチを5個以上使用される場合は、表示が点灯するタイプ以外のスイッチを使用してください。